

山梨県における公共交通の現状と課題 活性化方策について



平成30年7月11日

山梨県副知事

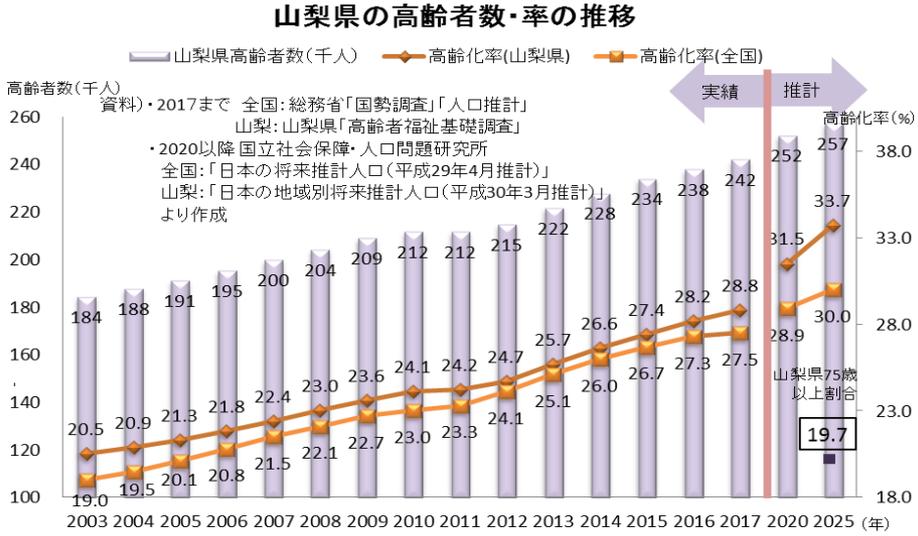
ませぎ たまき
柵木 環



山梨県の状況

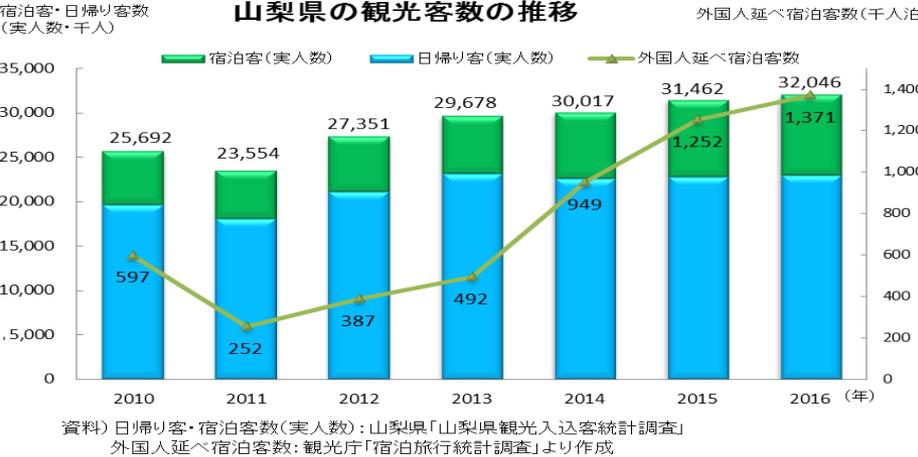
高齢化の状況

◆ 本県は全国よりも早いペースで高齢化が進展。団塊の世代が後期高齢者になる、2025（平成37）年には3人に1人が65歳以上高齢者、5人に1人が75歳以上高齢者になると推計



観光客の状況

◆ 本県を訪れる観光客は増加傾向。特に外国人観光客の増加が著しい



自家用車保有の状況

◆ 人口当たりの乗用車保有台数は全国上位

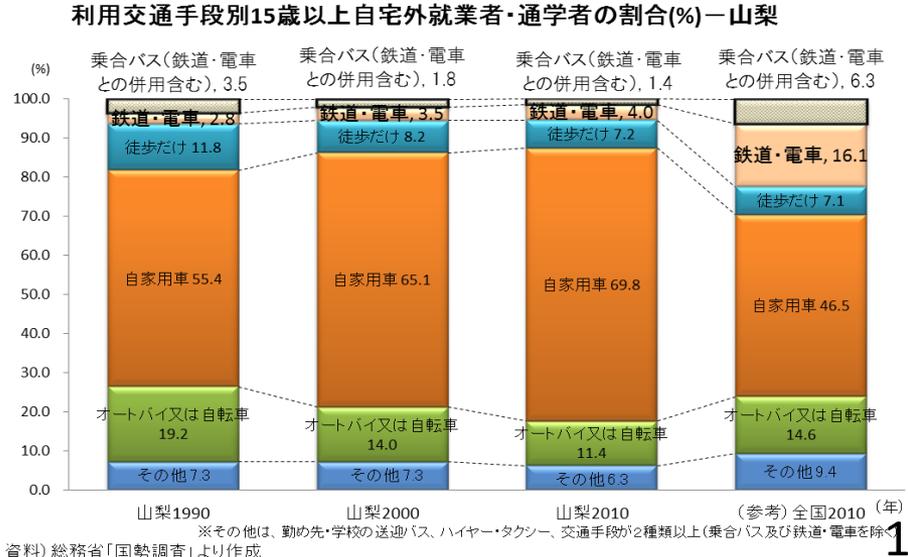
人口千人当たり乗用車（軽自動車を含む）保有台数

順位	都道府県名	都道府県人口(千人) (H28.10.1現在)	乗用車数(軽自動車含む) (台) (H28.3末現在)	人口千人当たり保有台数 (台)
1	長野県	2,088	1,703,557	816
2	山梨県	830	676,425	815
3	群馬県	1,967	1,587,766	807
4	茨城県	2,905	2,258,082	777
5	栃木県	1,966	1,514,489	770
	全国	126,933	71,482,254	563

資料）人口：総務省「人口推計」、乗用車数：国土交通省「自動車保有車両数統計」より作成

自家用車利用の状況

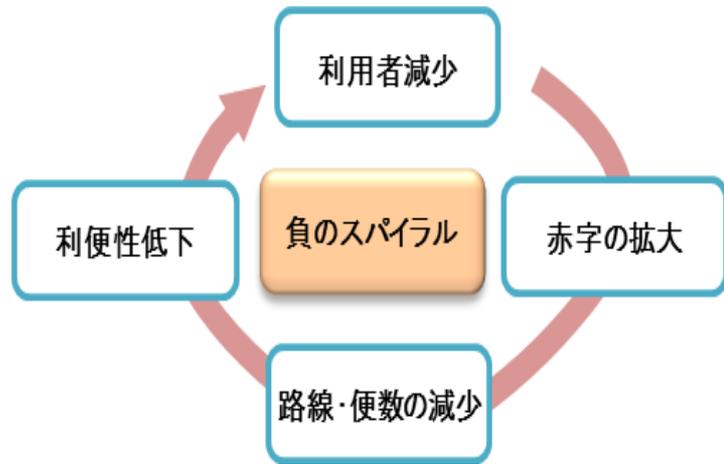
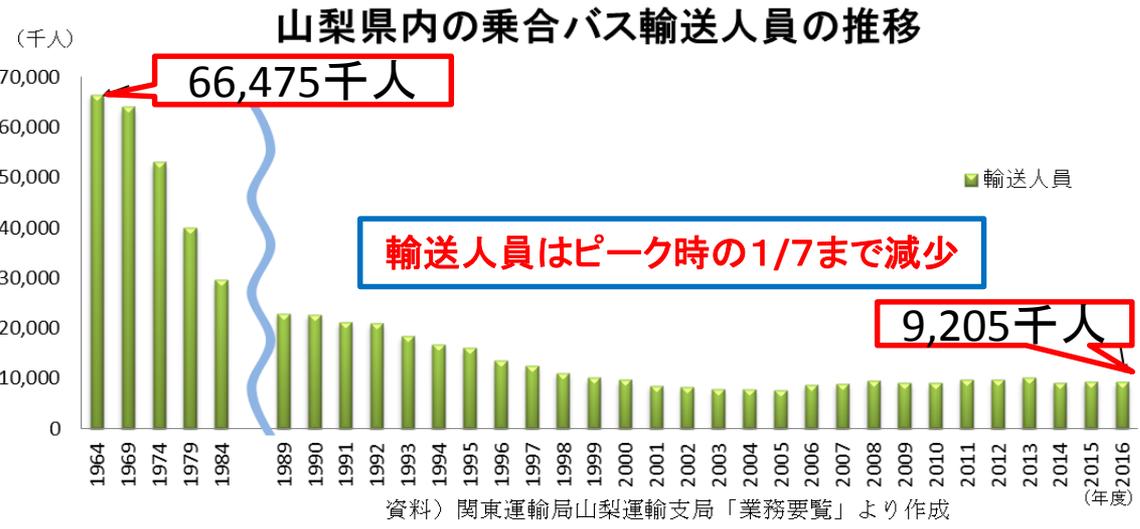
◆ 通勤・通学での鉄道やバスの利用率は全国よりも低く、自家用車の利用割合が高い



山梨県のバス交通の現状と再生に向けた取り組み

山梨県の乗合バスの利用状況

- ◆ 路線バスの輸送人員は1964(昭和39)年度の約6,647万人から2016(平成28)年度は約920万人に減少 <ピーク時の約1/7>
- ◆ 利用者の減少により路線バスの採算が悪化し赤字が拡大、それに対応するため不採算路線の減便や廃止が行われ、そのことが更なる利用者の減少を招く負のスパイラル



バス交通の活性化に向けて

山梨県バス交通ネットワーク再生計画を策定 (平成29年3月)

基本目標

(目標年度：平成31年度末)

- ① 生涯にわたり安心して暮らせる社会を実現するバス交通ネットワークの構築
- ② 県内観光を促進するバス交通の充実
- ③ 持続可能なバス交通の確保
- ④ リニア駅と県内各地を短時間で結ぶバス交通の確保

目指すべき姿

- ◆ 県内の主要拠点間を短時間で結ぶ広域的路線と、地域をきめ細かく巡る地域内路線が円滑に乗り換えできるよう路線を再編・整備し、県民のライフステージに応じた生活を支え、観光客の移動を円滑にする利便性の高いバス交通ネットワークの構築を目指す

バス交通ネットワーク再生計画による路線の再編

(1) 再編の具体的な考え方

- 広域交通空白地域の解消
- 広域的バス路線・鉄道との接続強化
- 広域的路線の利便性向上
- 移動目的地との接続強化

広域的路線・地域内路線の改善、バス相互・鉄道との効率的乗り継ぎによる利便性の高い交通ネットワークの実現

(2) 交通拠点の設定

- 交通結節点や都市機能（教育、仕事、医療、買い物、観光）集積地を交通拠点として設定【28拠点を設定】

(3) 広域的バス路線 [市町村を跨ぎ複数の交通拠点を結ぶ路線]

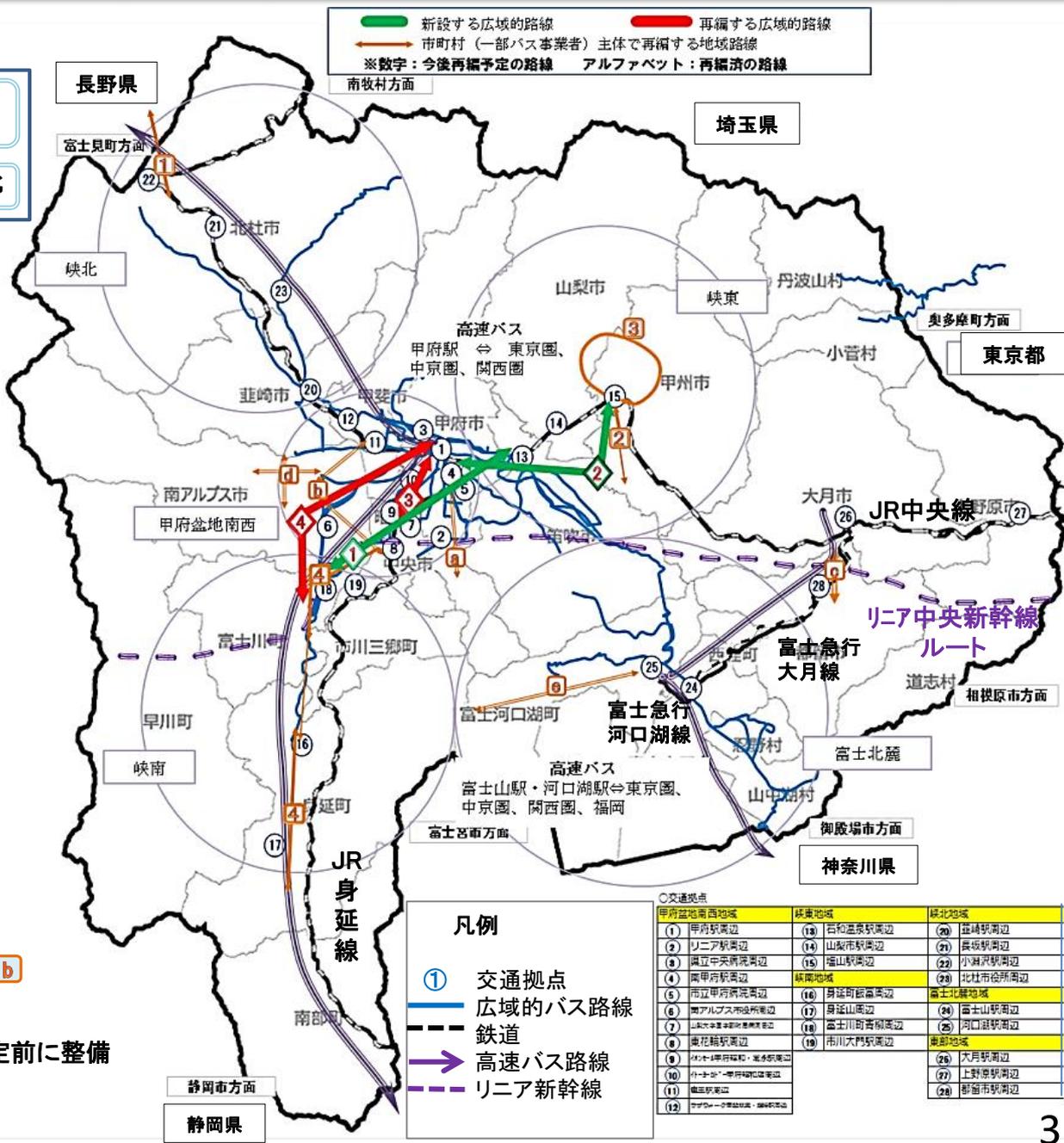
- 交通空白地域の解消 ① ② (複数の交通拠点間を結ぶ路線の新設)
- 既存広域路線の利便性向上
 - 夕方・夜間の時間帯の増便 ③
 - 起終点や経路の見直し ④

(4) 地域内バス路線 [原則市町村内の路線]

- 広域的バス路線・鉄道との接続強化 ① ② a b
 - 移動目的地との接続強化 ③ ④ c d e
- ※ a ~ e は、計画策定前に整備

(5) 高速バス路線

- 高速バス路線による県外との接続強化



甲府駅南口のバス交通案内表示システムの整備支援

- ◆ 甲府駅南口の改修にあわせ、バス交通案内表示システムの整備を支援
- ◆ バスの運行情報をリアルタイムで多言語表示(日本語、英語、中国語、韓国語)するシステムを、南口ロータリーの入口・各バス乗り場・総合案内所内に設置



公共交通フェスティバルの開催

- ◆ 県民にバスや鉄道などの公共交通に慣れ親しんでもらうため、バス車両の展示、乗り方教室の開催、バスに関するクイズなどを実施する「公共交通フェスティバル」を甲府駅北口広場で開催
- ◆ 毎年12月に開始。約5,000人が来場(推計)



ラッピングバスの運行

- ◆ 市町村やバス事業者が、かつて地域を運行していた路面電車や地域のゆるキャラなどのイラストを車両にラッピングしたバスを運行
- ◆ 地域住民や観光客のバスに対する愛着や関心が高まり、バス利用者の増加を期待



やまなしバスコンシェルジュによるバスの利用促進

- バスの運行情報や走行位置を、パソコン・スマートフォン・携帯電話などでリアルタイムで取得できるシステム
- 目的地までのバスの運行経路、時刻表、バス停周辺の観光情報なども検索可能
- 平成22年7月に運用開始

やまなしバスコンシェルジュの画面

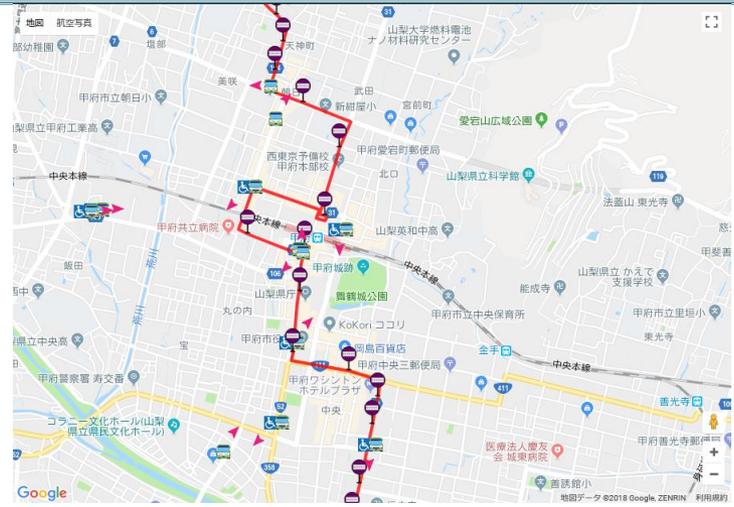
山梨県全域の路線バスの情報やバス路線上の観光スポットを見ることが出来ます。

携帯サイトはこちらから
<http://m.busmaps.jp/>

QRコードを読み取って携帯電話用ホームページへ簡単にアクセスできます。
 ※一部ご利用できない機種もございます。

お気に入りに登録する
 こちらからお気に入りに登録しよう！
 一部ご利用不可となることがあります。

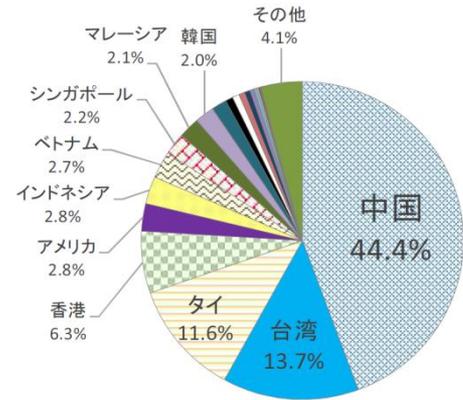
バスの位置情報をリアルタイムで表示



目的地までのバスの時刻表・料金も検索可能

時刻	出発地	目的地	運賃
11:40	甲府駅(スターミナル) 発	石和温泉駅 着	420円
12:00	甲府駅(スターミナル) 発	石和温泉駅 着	420円
12:23	甲府駅(スターミナル) 発	石和温泉駅 着	420円
12:30	甲府駅(スターミナル) 発	石和温泉駅 着	420円
13:00	甲府駅(スターミナル) 発	石和温泉駅 着	420円
12:45	甲府駅(スターミナル) 発	石和温泉駅 着	420円
13:15	甲府駅(スターミナル) 発	石和温泉駅 着	420円

多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）対応



H29年 山梨県内外国人宿泊者数の国別内訳

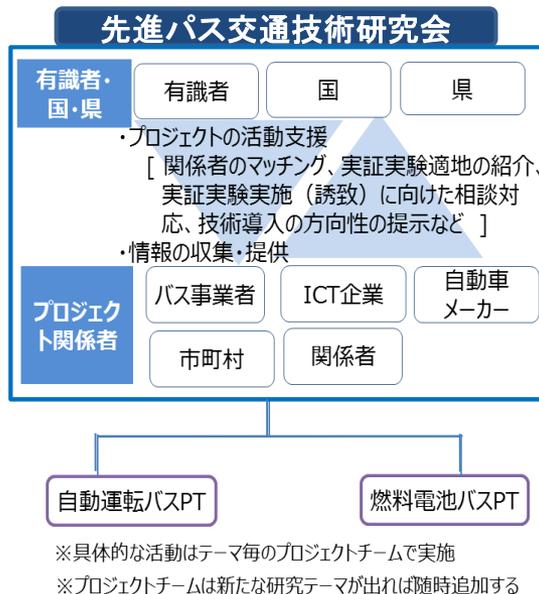
先進的・複合的な交通システムの推進

1 先進バス交通技術導入促進事業

- リニア中央新幹線の開業、観光地や中山間地域などの移動手手段の確保や運転手不足など本県を取り巻く環境に適切に対応するには、先進的な交通の検討が必要
- 全国的に自動運転の実証実験が本格化。本県においても早期に取り組むことが必要



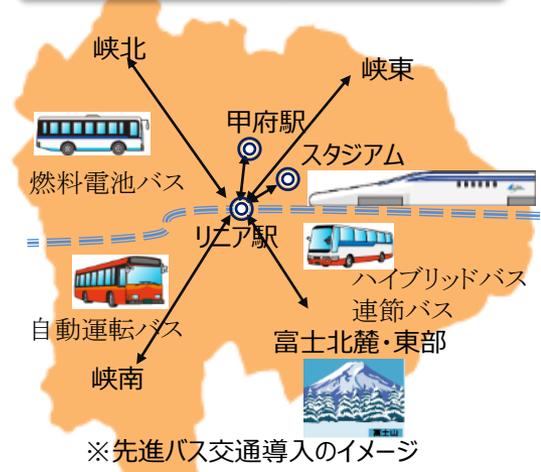
- 有識者、国、バス事業者、ICT企業、市町村などで構成される「先進バス交通技術研究会」を設置し、自動運転システム等について検討



自動運転技術等の先進交通情報の蓄積

実証実験等の誘致を通じたノウハウの蓄積

県全域での先進バス交通技術の導入



リニア開業に向けて先進交通技術でのバス運行を目指す

2 多分野連携・次世代型交通サービス検討事業

時代のニーズに対応した新たな交通サービス

- 有識者、関係者などの専門家で構成される「多分野連携・次世代型交通サービス検討会議」を設置し、次の2つの課題を検討
 - ・公共交通に付加価値を持たせる方策
 - ・公共交通を補完する交通サービスの導入
- 2つの課題を検討する分科会を設置し、ガイドラインをとりまとめ
- 市町村、NPO等を対象としたセミナーを開催し、関係者連携の促進を図り、具体的な取り組みに繋げる

